



Polaris news

【北高新聞 NO.202415】

インドネシアからの留学生受け入れ (2024.12.11~18)



インドネシア、南カリマンタン州のコタバルから、留学生4名と先生2名が来校しました。コロナで中止していたインドネシアとの交流が再開しました！6人とも、北高生の家にホームステイをしてもらい、1週間という短い期間でしたが交流を楽しみました。

【2年生との交流会】

茶道を体験してもらった後、2年生がグループに分かれて日本の駄菓子やお団子、コマ、紙トンボ、だるま落とし、折り紙、あやとりを紹介しました。



【1,2年生との交流会】

2年生が名古屋の食文化についてプレゼンし、ラササヤンを歌いました。インドネシアからは、プレゼン、ファッションショー、ダンスを見せてもらいました。最後にダンスを教えてもらい、一緒に踊りました。この日のために、毎日何時間も練習してきてくれたダンスは圧巻でした。



【犬山観光】

日曜日には、国際理解コースの有志と犬山観光に出かけました。犬山城に登り、城下町を一緒に散策しました。



【書道体験】

授業の最終日には、書道を体験してもらいました。国際理解コースの生徒だけではなく、普通コースの生徒とも交流ができました。留学生や先生の隣に座った生徒たちが、優しく教えてくれました。



【最終日】

いよいよお別れの時です。朝、STで挨拶をしたあと、空港へ向かいます。たった1週間でしたが多くの交流ができ、特にホストファミリーになった生徒たちとお別れは、お互い離れがたく、涙が出てきてしまいました。

